

今按社記に繼體天皇勅室屋大連而每州祭白髮神社とあり
書紀清寧卷に白髮武廣國押稚日本根子天皇云々生而白髮
云々二年春二月天皇恨無子乃遣大伴室屋大連於諸國置白
髮舍人白髮部膳夫白髮部靴負箕垂遺跡令觀於後とあるを
合せ思ふに此時の因縁によりて白髮部の人の清寧天皇を
祭り奉りしなるべし

祭日 九月一日
社格 (無格社)
所在 妻沼村^{字高} (大里郡妻沼町大字妻沼)

田中神社

祭神 建甕屍命
祭日 二月十八日

社格 村社

所在 三ヶ尻村^{字宮} (大里郡三ヶ尻村大字三ヶ尻)

楡山神社

祭神 稱熊野神

祭日

社格 郷社

所在 原郷村(大里郡幡羅村大字原郷)

奈良神社

祭神 奈良別命

今按社傳祭神奈良別命とありこは國造本紀に下毛野國造
云々豐城命四世孫奈良別とみえ姓氏錄に吉彌候部云々豐
城入彦命六世孫奈良君之後也とありて四世と六世と違
へるが如くなれど同人なるべし此に奈良別を祭れるは其
子孫或は氏人の此に住るより祭れるならん姑く附て考に
備ふ

神位 仁明天皇嘉祥二年十一月壬子武藏國播磨郡奈良神預
官社
祭日 四月一日 九月十五日

社格 村社

所在 中奈良村(大里郡奈良村大字中奈良)

○賀美郡四座 並小○今願 埼玉縣管下

長幡部神社

祭神

今按武藏式社道程命附に祭神姫大神とあり神社殿錄に地
名記を引るにも同じされど長幡部は古事記に日子坐王之
子大根王者長幡部連之祖とあるに據らば神大根王を祭れ
る歟又常陸久慈郡に長幡部神社あり常陸風土記古老日珠
寶美萬命自天降時爲織御衣從而降之神名綺日安命本自筑
紫國日向二神之峰至三野國引津根之丘後及美麻貴天皇之
世長幡部造祖多日命連自三野遷于久慈造立機殿初織之其
所織服自成衣裳更無裁縫謂之内幡とあるに於ては綺日

安命或は多日命を祭れるかこは皇別の長幡部とは出自異
にして神別の氏人なるべし

祭日

社格 村社

所在 長濱村(兒玉郡長幡村大字長幡)

今城青八坂稻實神社

祭神

祭日

社格

所在

今木青坂稻實荒御魂神社

祭神

祭日

社格

所在

今城青坂稻實池上神社

稱池上神社

祭神

祭日

社格

所在

忍保村(縣社)
忍保村(兒玉郡神保原村大字忍保)

武藏國 秩父郡

今按岩鼻縣神社考に武藏國四十四座命附に稻實神社は八
日市村の熊野權現素盞鳴命 今本書を考るに稻實神社祭神維
日市村と云るは 荒御魂神社は七本木村の榛名明神天兒屋
根命池上神社は伊吹戸主命にて同所にありとみえ細見錄
にこの三社を本長濱村に合せ祭りにて榛名大明神と稱す又
三座とも長幡部神社に相殿にますとも又關口村の丹生七
本木村の榛名忍保村の稻荷とも云ひて其所詳かならず而
るを三社とも元阿保村なりと云るは疑はし唯七本木村
關口村なるは思ひ捨がたく忍保村なるは池上神社ならん
と云り故今姑く之に従へり武藏演露に求涼雜記を引て本
門寺境内の七面社は往古の池上神社なるべしとあれと忍
保村なるは今も池上明神とも云へば七面社と云よりは勝
りてきこの

○秩父郡二座 並小○今願 埼玉縣管下

秩父神社

祭神 八意思兼命

知々夫彦命

神位 清和天皇貞觀四年七月二十一日戊子授武藏國正五位
下勳七等秩父神正五位上陽成天皇元慶二年十二月八日己巳
授武藏國從四位上勳七等秩父神正四位下
祭日 十一月三日